

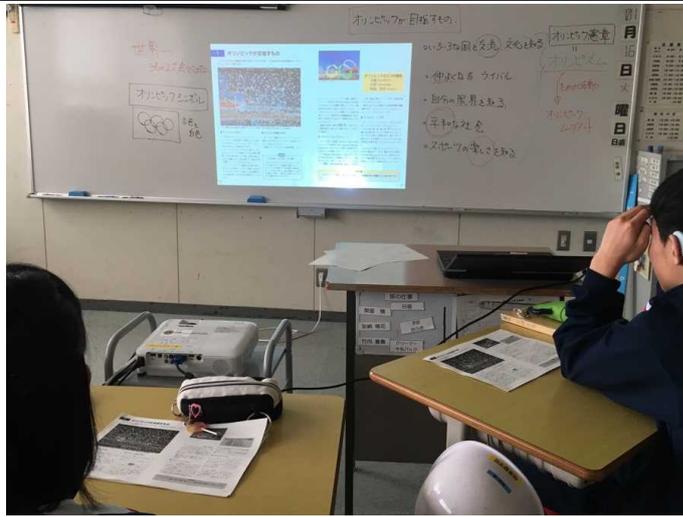
平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立岐阜聾学校 事業実施報告書④

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	岐阜聾学校 中学部1年A組（3名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの始まりと発展、スポーツへの多様な関わり方、スポーツの学び方について学ぶこと。 ・自分とスポーツとの関わり方を考えるために『オリンピック』や『パラリンピック』の目的や意義、歴史について、知ること。
5 取組内容	(1) 事前学習 保健体育の授業（体育編：第1章「スポーツの多様性」）『2スポーツへの多様な関わり方』の中で、以下のことを行なった。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの始まりと発展について学習し、さまざまな楽しさや必要性からスポーツが生まれ、発展してきたことを理解する。 ・自分がどのようにスポーツと関わっているかに気付き、「行うこと」「見ること」「支えること」「調べること」等のスポーツへの多様な関わり方について理解する。 (2) 授業当日 授業では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会発行の「オリンピック・パラリンピック学習読本（中学校編）」をプロジェクターで映し、また資料として生徒へ配付して、以下のことを行なった。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの国際大会である「オリンピック」等の目的や意義、歴史について、理解する。



(3) 事後学習

授業の最後に、「オリンピック」等の目的や意義、歴史について、理解した上で、以下のことを行なった。

- ・自分はオリンピックやスポーツとどう関わり、自分にとってどんな意味を持たせたいかなどについて考え、発表する。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して、自分とスポーツの関わりについて考えることができた。 ・生徒の発表内容より 『できればバレーボール選手として出場してみたい。東京まで行って、ボランティア活動もしてみたいと思った。結果はどうかであれ、一緒に戦った仲間や相手チームを尊重できるようになりたいです。』 『オリンピックでは、一生懸命になっている選手を応援し、その姿から、いろいろなこと学びたいと思った。スポーツを行いながら、自分の心と体を鍛えたいです。』 『できれば日本代表選手として出場したいです。スポーツ選手は、目標に向かって努力しているところがいいです。バレーボールだけではなく、他のスポーツも経験して楽しみたいです。』
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の授業の中で、自分がどのようにスポーツと関わっているかに気付けるように、「スポーツへの多様な関わり方」についての学習に取り組んだ。 ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会発行の「オリンピック・パラリンピック学習読本(中学校編)」を用いて、「オリンピック」等の目的や意義、歴史についての学習活動を行った。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる生徒は、スポーツに関する情報やオリンピック等に関する情報などについても、生徒一人一人の差が大きいため、事前の指導が重要となるので工夫が必要である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業としては、中学部の1年次には「スポーツへの多様な関わり方」に関連付けて、学習計画に取り入れていきたい。また、中学部の3年次には「国際的なスポーツ大会とその役割」に関連付けて、学習計画に取り入れていきたい。